

中国地域産学官コラボレーションセンター 主要活動報告

平成28年 7月22日

中国地域産学官コラボレーション会議
(中国地域産学官コラボレーションセンター)

平成27年度 活動報告

- (1) 中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催
- (2) 中国地域国立5大学連携事業の推進
- (3) 中国・四国地域連携会議(大学人材育成)の推進
- (4) キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

地域イノベーション創出2015 in ひろしまの概要

目的	中国地域におけるイノベーション創出の機運を一層高めるため、産学官連携活動の取組事例や連携の方向性を共有するシンポジウムを、各県持ち回りで毎年1回開催する。
開催日	平成27年7月16日(木)
場所	JMSアステールプラザ(広島市)
参加者	232名(産:99名, 学:57名, 官:76名)
主 内容	<p>1. 基調講演: (株)ネットワーク応用通信研究所 フェロー、 楽天(株)技術研究所 フェロー まつもと ゆきひろ 氏 『イノベーションを生むコミュニティ開発』</p> <p>2. 産学官連携・イノベーション創出の取組紹介</p> <ul style="list-style-type: none">①東京東信用金庫 『産学官金連携による「江戸っ子1号」の開発』②近畿大学工学部 『三次元造形技術がもたらすデジタルものづくり革新』③マツダ(株) 『自動車産業に係るひろしま産学官連携の進め方』④広島大学 『地域イノベーション創出をめざした広島大学の人材育成』



(2)中国地域国立5大学連携事業の推進(膜分離研究会)1/2 取組み概要

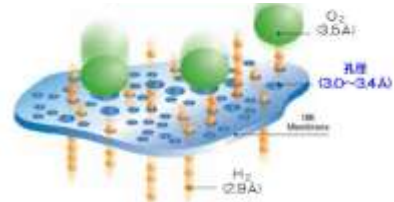
- 中国地域の国立5大学連携事業の一環として、平成24年度に中国経済連合会・中国 経済産業局主催で、企業向けに5大学の化学分野研究シーズ約40件の説明会を開催。
- 企業から関心の高かった膜分離利用技術を取り上げ、大学・企業が参加する研究会(講演会方式)を立ち上げた。
- H27年度は膜分離に関して先進的な技術を保有する広島大・山口大と事業化を目指す5企業の間で共同研究(国家プロジェクト)の成立・実施に向けた研究会を開催。

➡ 中国経済連合会から国に対して企業・大学の共同研究プロジェクトへの財政支援を要望

[参考]膜分離技術について

- 膜を通すことによって、液体や気体の中から特定の物質をふるい分けする技術。
- 原油からガソリン等の石油製品を抽出する蒸留プロセスの省エネ化や、水素、二酸化炭素の回収等への利用が期待されている。

【膜分離のイメージ】



出所: 経済産業省

H24~26年度の取組み

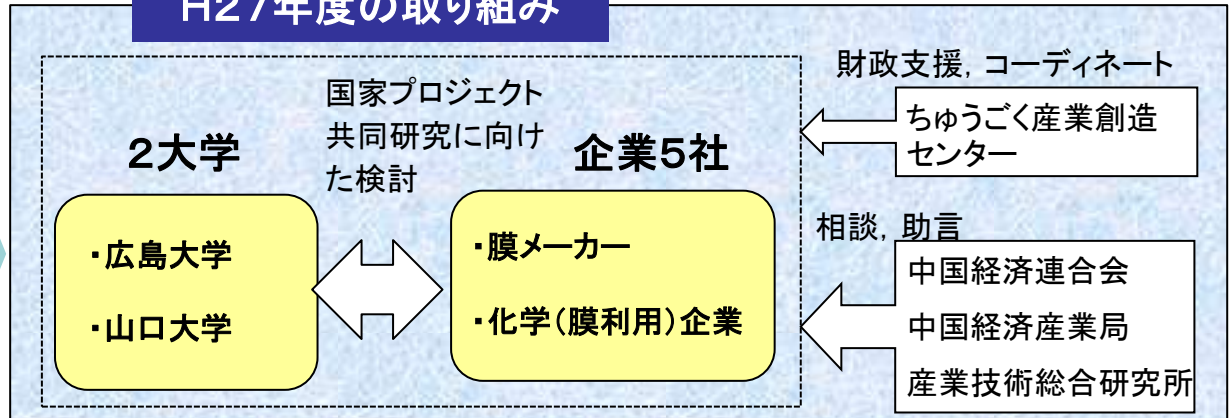
膜分離研究会を開催

(主催) 中国経済連合会
化学工学会、広島大学

(共催) 中国経済産業局他

(公財) ちゅうごく産業創造センターの事業(H27年度)を獲得

H27年度の取組み



(2) 中国地域国立5大学連携事業の推進(膜分離研究会)2/2 実施結果 ④

- 国の補助事業（国家プロジェクトテーマ設定に向けたF/Sの位置づけ）のテーマとして、膜分離技術の枠がH27年度に設けられ、広島大学の参画が決定。

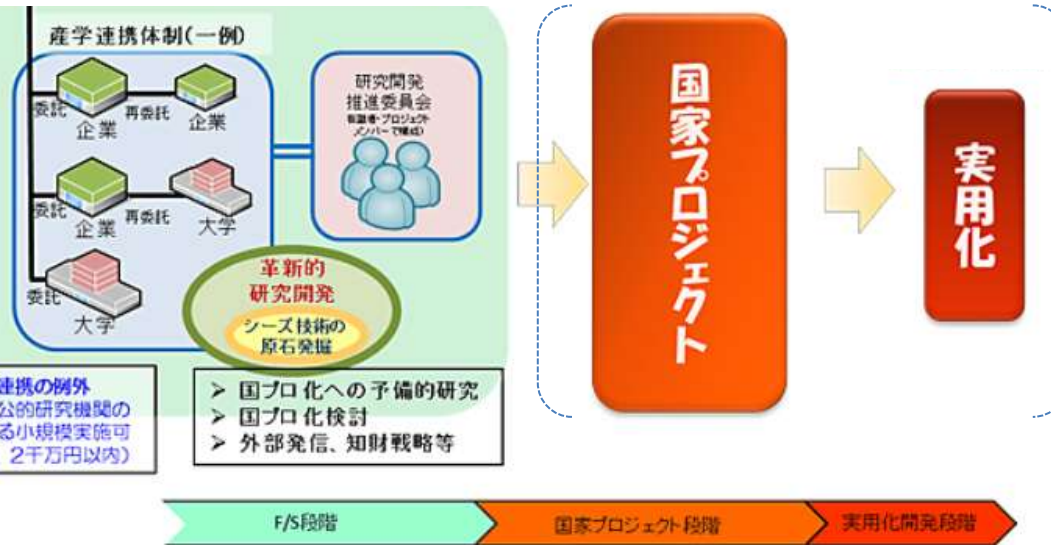
エネルギー・環境技術先導プログラム

出所：経済産業省資料を一部加工

NED

- ・革新性・インパクトのあるハイリスク・ハイリターンが期待できるテーマ
- ・省エネ・新エネ・CO2削減等に資する産学官連携体制による研究開発

○



➤ 今回採択テーマ名

蒸留分離及び反応分離
プロセスを大幅に省エネ
できる分離膜を利用した
革新的精製技術

➤ 要件

原則1年(最大2年)
1億円程度以内
(100%委託)

- 広島大・山口大と5企業との研究会を開催(計3回)。さらに両大学から5企業に対し「事業化を見据えた共同研究」実施に向けた提案を実施。

⇒その結果、化学系企業が、H28年度から山口大学との共同研究を実施予定。



目的

社会人基礎力育成のためのインターンシップの質の向上
及び受入れ企業の拡大。

開催日

平成27年10月27日(火)

場所

広島国際会議場 (広島市)



主催

中国・四国圏域インターンシップ等推進組織運営委員会(事務局:島根大学学生支援課内)
経済産業省中国経済産業局、中国経済連合会

主 内容

1. 講演

- ①文部科学省 高等教育局 専門教育課 教育振興係 係長 鳥塚 豊 氏
『インターンシップの拡大に向けた施策』
- ②島根大学キャリアセンター 講師 本田 周二 氏
『中国・四国圏域での産官学協働によるインターンシップ等の推進
/ 広域インターンシップにおける効果と課題』

2. インターンシップ事例紹介

- ①(株)エピット 代表取締役 大森 一弘 氏
- ②大旗連合建築設計(株) 企画統括室 取締役部長 伊藤 智宏 氏
- ③理研産業(株) 総合企画室 課長代理 橋本 洋展 氏

3. グループディスカッション

『今、求められる人材を育成するためのインターンシッププログラムとは』

(3) 島根大学「大学教育再生加速プログラム(平成26～27年度)」

中国・四国圏域インターンシップ等推進組織運営委員会
(経済団体、NPO法人、自治体、大学等)

各県域を越えたインターンシップ等の普及
持続可能な基盤作り
専門人材育成による質の向上

大学グループ

インターンシップ等支援団体等

島根大学(幹事校) 愛媛大学
尾道市立大学 岡山理科大学 倉敷芸術科学大学 岡山県立大学
広島修道大学 福山大学 山口東京理科大学 四国大学
くらしき作陽大

産官学協働による連携体制の強化

島根県経営者協会
公益財団法人 ふるさと島根定住財団
NPO法人 てごねっと石見

山口県経営者協会
山口県インターンシップ推進協議会
山口県

広島県インターンシップ促進協議会、
広島経済同友会、広島県中小企業家同
友会、広島県

岡山県中小企業団体中央会、岡山
県経済団体連絡協会、大学コン
ソーシアム岡山、倉敷・玉島・児
島商工会議所、一般社団法人 水辺
のユニオン、岡山県、倉敷市、総
社市

徳島県産官学人材育成連携会議

松山商工会議所青年部
愛媛県

中国経済連合会
四国経済連合会

インターンシップ等の普及
専門人材育成への支援
中小企業の魅力発信

NPO法人 E.T.I.C.
株式会社 シーズ総合政策研究所
一般社団法人 中国地域ニュービジネス協議会

第14回(H27年度) キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国

- 学生の起業家精神を醸成する目的で開催(15校・97件が応募)
- 審査会を実施のうえ各賞を決定し、H28.1.20に表彰式を開催
- 応募前に『ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー』を開催(H27.9.16実施。学生、大学関係者、社会人等約50名が参加)



受賞名	テーマ	学校名・代表者氏名
テクノロジー部門最優秀賞 (中国経済連合会会長賞)	救急搬送における救命率向上のためのICTを活用した新医療体制の提案	山口大学 山中雄城
ビジネス部門最優秀賞 (中国経済連合会会長賞)	途上国の手仕事とファッションショーで目指す女性の自立 ~Based on I自分の力で作る服と未来~	広島大学大学院 伊達文香
テクノロジー部門優秀賞 (エネルギー中国電力賞)	ゲーミフィケーションを用いたアプリ開発会社-将棋学習アプリの開発-	広島大学 北村拓也
ビジネス部門優秀賞 (広島ガス賞)	イマジンフィット ~マイ3Dモデルでどんな服でも試着~	広島工業大学 尾坂甚伍、寺尾大輔、谷本和貴、石井広志
テクノロジー部門優秀賞 (ツネイシパートナーズ賞)	自動精算かごシステム	岡山大学大学院 真鍋友希、浅野友也、高石晃希、林祐矢

上記の他、特別賞:2件、奨励賞:4件、佳作:4件